

(くじらぐも)5領域支援プログラム

作成年月日 (R7年 1月 8日)

法人理念	一人一人の強みを生かし、弱みに工夫を施し、子供や家族の「将来の希望」を生み出す		
支援方針	<p>【発達支援】仲間づくりを念頭に置き、プラス評価を重視し、できていることを称賛する</p> <p>【教育・トレーニング活動】遊び、お手伝い、学び活動を通し個々の強みを引き出せるよう計画的にプログラムを検討し準備する</p> <p>【栄養】脳機能向上に欠かせないビタミン・ミネラルを意識した補色や水分の提供を行う</p> <p>【休憩(オン・オフバランス)】質の高い活動を行うために、身体や脳を休ませることの必要性に気づかせていく</p>		
営業時間	月～土曜日 学校日 9:30～18:30 学校休校日 8:30～17:30 *但しGW、お盆、12/29～1/3及び事業所が定める休館日を除く	送迎有無	送迎有
支援内容			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を整理し、支援の方向を共有するための作戦タイム(支援者会議・担当者会議)を行う ・個別支援計画書を保護者と一緒共同作成を行う ・親子プログラム・理解ノートを通して子どもの成長に気づきを持ってもらえるよう家庭と連携して支援に取り組む ・くじらぐもだよりで日頃の支援や活動をお知らせしている 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・親子プログラム年6回 ・歓迎オリエンテーション ・秋まつり ・味噌づくり2回 ・他事業所との交流会 ・田植え・稲刈り ・保護者との茶話会 ・親子deマナー ・餅つき 		
本人支援	健康・生活	<p>【感情、生活のリズムの調整につながるように心身のオンオフを円滑に行う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○休憩や睡眠で心身を休ませる ○インターネットやゲーム機以外で時間を過ごせる ○活動量に応じた休憩をとる 	
	運動・感覚	<p>【日常的な生活動作、見る聞く力を上肢操作運動で高める】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○遊具などを用いて、感覚機能を高める ○「走る」「蹴る」「打つ」「投げる」など遊び活動を通して行う ○お手伝い活動を通して行う <p>【日常的な基本動作、見る聞く力を全身運動で高める】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調理活動を通して行う ○制作や創作活動・鉛筆や定規など学習活動を通して行う 	
	認知・行動	<p>【個人、集団での学ぶ姿勢を身に付ける】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集団の中で場の共有を行う ○「見る・聞く」など集中する場面を体験する ○探索ならびに調査活動で情報収集をし整理する ○途中で諦めず答えを探してみる ○パソコンなどの正しい使い方を知る <p>【学びの習慣、学びの楽しみを身に付ける】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学び合いに参加し、できるだけ意見を伝える ○読書や読み聞かせ、脳トレに積極的に参加する ○本や教科書など手本を見ながら創作体験をする 	
	言語 コミュニケーション	<p>【仲間関係を生み出す優しい『ことば』を使う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○仲間を応援する「がんばれ！」 ○感謝の気持ち「ありがとう！」 ○仲間を気遣う「どうしたの？大丈夫」 ○仲間を誘う時「一緒にやろう！」 <p>【言いたいこと伝えたいことを『ことば』で伝える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知りたい・わからない時、「教えてください」「どうしたらいいですか」 ○自分なりの方法で伝えられるよう様々な表現方法を試す 	
	人間関係 社会性	<p>【「誰かのために」の思いを抱いて、ふれあいを楽しむ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○お手伝い活動により、充実感を味わう ○くじらぐものお店を訪れる方々に敬意を表す「こんにちは」「いらっしゃいませ」「また来てくださいね」「ありがとうございます」 <p>【心を強くしていく】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○失敗や負けても「大丈夫」と思える ○ダメな言動をとった時に、どうすればよかったか振り返ることができる 	
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源 社会体育の利用も視野に入れた目標設定を行う 		
地域支援・連携	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育(資源の情報収集を行い提案できる環境を整える) ・児童部会への積極的な参加により他事業所との連携をはかりやすくする 		
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・理念を落とし込んだセルフチェック、スキルアップシートを用いた定期的な面談 ・年間スケジュールを用いた社内の研修実施 ・社外研修へも積極的に参加する 		